

予算決算常任委員会報告

令和 8 年 2 月 1 7 日

ただ今から、予算決算常任委員会の委員長報告を行います。

令和8年2月6日午後2時29分から美浜町議会全員協議会室において、委員12名及び議長の出席のもと本委員会を開催し、2月6日に本委員会に付託されました議案10件の審査を行いました。

当日は説明のため、町長、副町長、教育長、両統括幹、各課長及び会計管理者の出席を求めました。

また、職務執行のため議会事務局長を出席させました。

以下、本委員会で審査された主な点について申し上げます。

議案第1号 専決処分の承認を求めることについて（令和7年度美浜町一般会計補正予算(第5号)）

総務課長より説明を受けた後、質疑に入りました。

質疑はありませんでした。

議案第2号 令和8年度美浜町一般会計予算

総務課長より説明を受けた後、質疑に入りました。

<町の予算概要>

質疑：たばこ税収入予算63,291千円であるが、昨年度よりも約240万円増加しているが理由は何か。

回答：法律の改正により、加熱式たばこの紙たばこへの換算方式が変更になったことによるものである。

<議会費から民生費>

質疑：エネルギー環境教育体験館整備事業1,205万円であるが、「きいばす」の高度化に係る「ビッグきいばす構想」に向けた展示設備等の充実とあるが、「ビッグきいばす構想」とはどういう内容なのか。

回答：共創会議の将来像の中に、エネルギー環境教育の推進を掲げており、館内展示物や屋外施設のリニューアルを行う。令和6年度はワーキング、令和7年度は基本設計を行ってきており、令和8年度はその実施設計を行う。

質疑：きいばすに更に整備費を費やす訳だが、使用料収入予算は150万円にすぎず、しっかりした目標をたて、その実現に努力しなければ、費用対効果の面では無駄な箱物と言われても仕方ないと思うが、どう考えているのか。

回答：きいばすは、エネルギー全般の学びの場であり、とても重要な施設と考えております。また、町内はもとより町外・県外からの来館者も増えており、更に充実して受け入れるために整備を進めたい。

要望：しっかりした目標をたて、その実現に向けて努力するとともに、常に議会や町民に正確な実績を示し、事業の有用性が判断できる取り組みを要望する。

質疑：新たな出会い応援事業262万円であるが、25歳以下の新婚世帯に「早婚

支援金 10 万円」、29 歳以下の新婚世帯に「U29 夫婦支援金 30 万円」を支給とあるが、年齢によってなぜ違うのか。

回答：県の制度設計であるが、25 歳以下の新婚夫婦には「早婚支援金 10 万円」と「U29 夫婦支援金 30 万円」の双方が支給される。

質疑：美浜町職員「人財」育成事業 472 万円であるが、令和 7 年度の自主研修補助の実績はどうなっているか。

回答：現時点で実績はゼロである。

意見：令和 6 年度は 0 件で、令和 7 年度も 0 件という残念な実績である。各人が自主研修の大切さをよく認識して取り組むことは、自分自身の能力向上のみならずモチベーションの向上にもつながるので、職場全体で精力的に取り組んでほしい。

質疑：同じく美浜町職員「人財」育成事業であるが、『考える職員』『元気な職員』『美浜を愛する職員』を育て、地域愛をもって美浜町の『まちづくり推進力』となる職員を育成する」として予算計上しているにも関わらず、実践されていないことについてはどう考えているのか。

回答：実績がゼロの事業は、本人のスキルアップのため、資格取得等の自主研修費用を助成するものであるが、職員への更なる周知をはかるとともに、研修時の助成金額を上乗せする等して、使いやすいうように工夫をしていきたい。また、研修については、この自主研修以外にも、年齢や職責ごとの県の研修や町独自の研修などを行っている。まちづくりも組織づくりも人が重要であり、人づくりベースに方向性を持って進めていきたい。

意見：職員がやらないからなど、職員のせいにするのはよくない。行政幹部が姿勢を正して、「人材をしっかりとつくっていく」という意思を職員に伝えてほしい。

意見：社会の変化・住民サービスの多様化・行政方針の達成などに対応するために、自分たちは「何を学ばなくてはいけないか」という、教育のニーズが掴めていないように見受ける。いかに多忙であっても、人材育成事業は重要かつ不可欠である。もっと仕組みを整えて効果的に取り組む必要がある。

質疑：在宅高齢者生活支援事業 1，545 万円であるが、対象になるのは障害 2 級以上などと限定されているが、高齢者は例えば転んで骨折すると寝たきりになるなどのリスクがあるので、もっと拡充・強化が必要だと思うがどうか。

回答：住宅の改修等については、この制度以外に介護保険制度にも整備されているが、今後ともニーズを吸い上げ、必要な制度の拡充を検討していく。

＜衛生費から商工費＞

質疑：若狭美浜観光協会育成補助金 2，928 万円であるが、昨年度予算の 2 倍程度に増額されているがその理由は何か。

回答：昨年度比 1，300 万円ほど増えており、その大きな要因は、観光協会が雇用し、現在レイクセンターで勤務されている営業部長と、別途観光協会が雇

用された、サイクリング専門員1名の人件費である。

質疑：レイクセンターに常勤している人の人件費がここに計上されているなど、レイクセンターの費用総額がわかりにくい、まとめて計上できないのか。

回答：営業部長は、美浜町全般の観光事業に携わっているが、今はレイクセンター事業が大切な時期であることから、レイクセンターで勤務して頂いている。

質疑：レイクセンター運営事業6,751万円であるが、主な財源として遊覧船乗船料4,062万円が計上されているが、本当に達成できるのか。

回答：昨年春に策定した経営強化戦略において、2年目の乗船料を3,760万円としており、それに物販収入等を合わせて4,062万円としている。

質疑：今年度の乗船料等の実績はどうか。

回答：1月末現在、乗船料は1,980万円で総収入は2,030万円程度である。

質疑：内水面漁業振興事業1,258万円の中の、久々子シジミブランド化推進事業100万円であるが、シジミの収量が減ったり、魚が死んで浮いたり、白濁して異臭がする等の、水質変化に起因すると思われる事象が発生しているが、どのように対応する予定なのか。

回答：若狭町や環境部局とともに、県や福井大学を含めた協議体をつくり、原因調査を開始予定である。

意見：海面上昇による海水流入と塩分濃度上昇や、温暖化による水温上昇などの影響も想定され、久々子湖は大きな課題に直面していると捉えるべきである。

意見：この問題は、住民の生活環境の健全性に加えて、ローイングや観光事業の大きなダメージにつながるので、早急に調査と対策を進めてほしい。

質疑：はあとふる体験推進事業722万円であるが、令和5年には7,008人だった受入人数が、令和7年度は12月時点で5,500人と先細り感があるが、原因調査や対策は行われているのか。

回答：ここ数年は概ね同程度のレベルで推移していると考えているが、もう少しブラッシュアップすべき事業もあるかもしれない。先細りにならないように対応していきたい。

質疑：はあとふる体験の内容自体は問題ないが、宿泊施設の不足や施設の耐震性などの課題があると聞いている。どう考えているか。

回答：宿泊がなければ観光消費が上がらず、町の経済発展にはつながらない。その対策として、例えば、廃校を当事業の宿泊施設にリニューアルする等、腹案はあり検討中である。

質疑：ふるさと美浜元気フォーラム推進事業727万円であるが、教育コーディネータとして、地域おこし協力隊員1名を任用する費用だが、その理由は何か。

回答：ふるさと美浜元気フォーラム推進事業は、学校現場を中心に運営するが、働き方改革が叫ばれる学校現場において、事業の継続性を確保するために人的支援体制を整備するものである。

質疑：みはまシナプスプロジェクト事業5,829万円の中にも、地域おこし協力

隊派遣業務委託料 7 2 7 万円が予算計上されているが、何が違うのか。

回答：みはまシナプスプロジェクト事業においては、「民間企業を含めた共創」を掲げて取り組んでおり、その推進体制を整備するため、地域おこし協力隊員を 1 名任用する。

質疑：教育費に係る事業の中で、「ふるさと美浜元気フォーラム推進事業」のみがまちづくり推進課の担当で、その他の事業は全て教育部局が担当している。この事業も、教育部局の担当にした方が効率的に進むと思うがどうか。

回答：確かに、当事業は学校現場を中心に進めており、教員や教育委員会から支援を望む声が上がっている。そうしたことで、放課後教室サン等をはじめとした社会教育の側から学校教育との連携を目指すうえで、まちづくり推進課担当の事業としている。

質疑：ローイングの町美浜推進事業 2, 1 0 9 万円であるが、大きな大会を誘致するのはよいと思うが、当町に比べて他の市町の競技レベルが相当アップしている。その対策の一環として、練習機会の制限を緩和し、練習量を増やす必要があると思うがどう考えるか。

回答：現在は町職員が当番制で練習準備等を行っているが、今後はボランティア等を活用して、もう少し自由に練習機会が得られる体制を整えたい。

＜土木費から公債費及び職員の給与等＞

質疑：給食センター管理運営事業 1 億 9 7 6 万円であるが、国の政策に合わせて、令和 8 年度から小学校の給食費を無償にするとあるが中学校はどうなるのか。

回答：給食費の無償化についての町の方針は、国の方針に合わせて実施するというもので、今回は小学校のみを対象としている。

質疑：総合振興計画で「子育て・教育の支援」を掲げており、学校給食の無償化は人口減少対策に対しても重要な施策になる。当町より財政力が弱い市町においても、独自政策で中学校の給食費無償化を行っているがどう考えるか。

回答：給食費の無償化は人口減少対策等へのメリットはあるが、恒常的な経費負担が発生することより、財源の確保の面で懸念がある。国は今後、中学校給食の無償化についても取り組む方針であり、その動向を注視していきたい。

意見：福井県において、令和 8 年度に中学校給食が無償である市町は、高浜町、永平寺町、あわら市、勝山市、南越前町、若狭町になると思われる。他の市町に先駆けて、ポリシーと覚悟をもって進めることにも意義があると思う。

質疑：令和 7 年度予算に計上されていた「国吉城址及び周辺地区史跡整備事業 6 8 7 万円」が、今年度予算には消えているがどうなっているのか。

回答：この事業は田辺半太夫家の門塀再建に関する事業であるが、予算金額を確定し 6 月議会で改めて予算計上する計画である。

＜歳入全般＞

質疑はありませんでした。

議案第 3 号 令和 8 年度美浜町診療所事業特別会計予算

健康福祉課長より説明を受け、質疑に入りました。

質疑はありませんでした。

議案第 4 号 令和 8 年度美浜町国民健康保険事業特別会計予算

住民環境課長より説明を受け、質疑に入りました。

質疑：令和 6 年度の国保税収納率（現年分）が 97%とあるが、残り 3%の取り扱いはどうなるのか。

回答：会計上は現年課税分と滞納繰越分に分かれており、未納 3%分は次年度の滞納繰越分となる。滞納として残っても、催告書等による納付勧奨を行い、継続して徴収する。

議案第 5 号 令和 8 年度美浜町後期高齢者医療事業特別会計予算

住民環境課長より説明を受け、質疑に入りました。

質疑はありませんでした。

議案第 6 号 令和 8 年度美浜町介護保険事業特別会計予算

健康福祉課長より説明を受け、質疑に入りました。

質疑はありませんでした。

議案第 7 号 令和 8 年度美浜町産業団地事業特別会計予算

産業政策課長より説明を受け、質疑に入りました。

質疑はありませんでした。

議案第 8 号 令和 8 年度美浜町住宅団地事業特別会計予算

まちづくり推進課長より説明を受け、質疑に入りました。

質疑はありませんでした。

議案第 9 号 令和 8 年度美浜町上水道事業会計予算

上下水道課長より説明を受け、質疑に入りました。

質疑はありませんでした。

議案第 10 号 令和 8 年度美浜町下水道事業会計予算

上下水道課長より説明を受け、質疑に入りました。

質疑：県道久々子パイパスの歩道で、雨が降るたびにマンホールから下水が溢れる

が、その対策費用はこの予算に含まれているのか。

回答：本件は、令和7年度予算で対策工事を行う予定である。管理者である県土木事務所との事前調査の結果、管路天端の崩壊による土砂流入で、約10m区間が閉塞していると思われる。

以上の審査を終え、委員会採決を行いました結果を報告いたします。

議案第1号 専決処分の承認を求めることについて（令和7年度美浜町一般会計補正予算(第5号)）

は全員賛成をもって承認することに決しました。

議案第2号 令和8年度美浜町一般会計予算

は賛成多数をもって承認することに決しました。

議案第3号 令和8年度美浜町診療所事業特別会計予算

は全員賛成をもって承認することに決しました。

議案第4号 令和8年度美浜町国民健康保険事業特別会計予算

は全員賛成をもって承認することに決しました。

議案第5号 令和8年度美浜町後期高齢者医療事業特別会計予算

は全員賛成をもって承認することに決しました。

議案第6号 令和8年度美浜町介護保険事業特別会計予算

は全員賛成をもって承認することに決しました。

議案第7号 令和8年度美浜町産業団地事業特別会計予算

は全員賛成をもって承認することに決しました。

議案第8号 令和8年度美浜町住宅団地事業特別会計予算

は全員賛成をもって承認することに決しました。

議案第9号 令和8年度美浜町上水道事業会計予算

は全員賛成をもって承認することに決しました。

議案第10号 令和8年度美浜町下水道事業会計予算

は全員賛成をもって承認することに決しました。

以上のとおり審査を終了し、9日午後3時10分本委員会を閉会しました。

これをもって、予算決算常任委員会の委員長報告を終わります。